ロッキー通信No.17

「プライオン　思いを力に！」

学校教育目標：「豊かに育つ生徒」
～「挑戦」と「創造」～
校　　訓：「求学・親和・創造」

R7.9.17（水）発行　文責　校長　六山　和弘

「令和7年度 学校評価アンケート（7月分）」の集計結果を報告します。
アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

7月に実施した学校評価へのご協力、誠にありがとうございました。
この結果を受けて、2学期の学校経営方針を再確認して、本校の教育がよりよいものになるよう尽力してまいりたいと考えております。
この紙面をお借りして改めて保護者の皆様にも報告させていただきます。
なお、私たち教職員は、この結果や保護者の皆様から寄せられた様々なご意見を真摯に受け止め、共有し、学校運営や日々の教育実践に生かすべく協議をおこない、それぞれの項目において改善策を検討・実施してまいります。
引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
※表は、7月の「わからない」を除く回答すべてを平均値で表わしたものです。
　また、昨年度の12月より上昇したものを青色、下降したものに赤色で示しています。
※なお、学校ホームページにおいても公表してまいりますのでご確認ください。

いい学校になるように

今後も頑張ります！

令和７年度　西大村中学校　学校評価アンケート（平均値表示・４が満点）

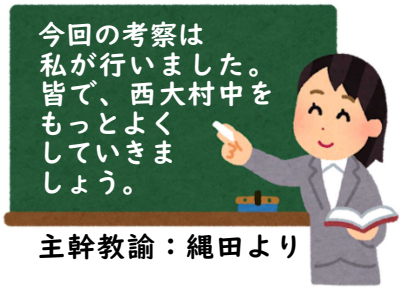
	領域	質問内容	生徒	保護者	地域	教職員
明朗な人	方針	1.学校の教育方針や教育目標が理解できる	3.4	3.2	3.7	3.8
	心の教育・生徒指導	2.生徒（お子様）は、学校に楽しく登校している	3.5	3.3	3.3	3.3
		3.学校は、一人一人を大切にしている	3.4	3.0	3.5	3.7
		4.学校は、厳しさと温かさのある指導に努力している	3.4	3.1	3.4	3.6
		5.学校は、命の大切さや思いやりの心を育てる努力をしている	3.6	3.1	3.4	3.7
		6.学校は、いじめがないように、生徒の悩みや相談に親身に対応している	3.4	3.0	3.7	3.7
		7.学校は、病気やけがに対する、健康に配慮した指導がなされている		3.1	3.6	3.6
		8.不登校等の生徒の指導にあたっては、関係機関と適切に情報交換し、連携が図られている				3.5
		9.支援を要する生徒の情報共有、共通理解、支援が組織的にできている				3.6
		10.生徒（私）は、元気なあいさつを自分からすることができている	3.2	2.9	3.3	3.0
		11.生徒（私、お子様）は、感謝の気持ちを他者に伝えることができている	3.5	3.0	3.2	3.2
		12.生徒（私、お子様）は、時間を大切にし、守ることができている	3.2	2.7	3.3	3.0
		13.生徒（私、お子様）は、スリッパや靴ならべをきちんとできている	3.5	2.3		2.7
		14.チーム学年担任制は、生徒にとってよかった	3.4	3.2		3.1
		15.チーム道徳制は、生徒にとってよかった				3.6
		16.チーム教科担任制は、生徒にとってよかった				3.4
期待される人	学力向上	17.授業は分かりやすい（教職員：教材研究や授業改善に努めている）	3.4			3.5
		18.生徒は、授業によく取り組んでいる	3.3		3.3	3.3
		19.学校は、教科担任で連携し、学習内容の定着を図る授業を実践している	3.4	3.0	3.3	3.4
		20.学校は「分かる授業づくり」の手段として、ICT機器を有効活用している	3.2	3.0	3.3	3.3
		21.学校は、秩序があり、生徒は落ち着いて学習している	2.9	2.9	3.2	3.5
		22.学校は図書室の効果的な活用（本の貸し出しや調べ学習等）がなされている	3.4			3.2
		23.学校は地域の歴史や文化を学ぶ学習を充実させている（地域学習など）	3.4	3.1	3.2	3.4
		24.学校は、ALTを活用した外国語教育や異文化理解の学習が実践できている	3.5	3.1		3.5
		25.生徒は、係活動や生徒会活動によく取り組んでいる	3.4			3.4
		26.昼休みの「リフレッシュタイム」は効果を感じている	3.0			3.1

感謝できる人	環境教育	27. 学校は、掃除が行き届いていて、整理整頓されている（教職員：清掃指導等も率先垂範し、環境教育に気を配っている）	3.1		3.5	3.3
		28. 学校は、危険箇所などを点検し、安全配慮に努めている	3.4	3.1	3.6	3.4
	家庭・地域連携等	29. 学校は、各種通信・電話等で学校や生徒の様子等を保護者に知らせている（生徒：学校からの文書や「たより」を保護者に渡している）	3.4	3.2	3.8	3.5
		30. 学校は、保護者からの相談に親身に対応している		3.2	3.7	3.7
		31. 学校は、授業や学校行事に参加する機会を多く設けている		3.3	3.6	
		32. 学校のPTA活動は、充実した取組ができている		3.0	3.4	3.3
		33. コミュニティスクールの効果的な推進が図られている（生徒：地域学習等は大切で学びがいがあると感じている）	3.4	2.9	3.6	3.1
		34. 生徒は、情報端末やインターネット利用のルールを守っている	3.6	2.9		2.7
		35. 家庭では、学校のことや将来のことを話し合ったり、自分の悩みを相談している	3.1	3.2		
		36. 小中の接続を意識した連携が進められている			3.5	3.4
		37. 学校は、働きがいを感じる職場である				3.6

【この結果を、次のように考察しました】

生徒
生徒は全体的に肯定的意見が高く、特に「心の教育・生徒指導」では9割以上の項目が高評価。学校生活の満足度や人間関係の面で安心感が強いと考えられる。一方で、少数ではあるが、否定的な回答をしている生徒がいること、アンケートに回答していない生徒が約70名いることを踏まえ、毎月の生活アンケートの結果を注視しながら、個々の困り感に寄り添う必要がある。

地域
地域は項目によるばらつきが大きく、情報提供や交流機会が多い分野では高評価だが、内部的な教育活動に関しては「わからない」が多く、肯定率が低い傾向。



主幹教諭：縄田より

保護者
保護者はおおむね高評価だがNo.6の否定的な回答が38名（生徒は33名、教師は0名）だった。このことから、「もっと相談にのってほしい」等、対応を必要としている生徒がいることを意識していく必要がある。No.12、13は評価が低く、生徒の自己評価とのギャップが大きい。生徒は学校ではできていると感じているが、家庭ではできていないという現状がわかる。

教職員
教職員はほとんどの項目で高評価を付けているが、No.13、14、34の評価が低い。「チーム学年担当制」については、「わからない」の回答が20%以上あることから、継続して様子を見ていく必要がある。No.34「情報端末のルール」については、最も低い評価。生徒の自己評価は高く、教職員や保護者の捉えとのギャップがある。生徒が考えているルールを確認する必要がある。

〈領域別　今後の取組について〉

心の教育・生徒指導
全体的に高評価だが、一部で「わからない」が多い項目が存在。特定の生徒や保護者に対して情報が十分に届いていない可能性がある。取組や成果を学校通信・ホームページ・学校行事などで発信し、可視化したり、学校開放日を生徒・保護者・地域が一体となって参加できる機会とする等の取組が考えられる。

学力向上
他の領域に比べてやや低め。地域や保護者の理解が十分でなく、取組内容や成果が伝わっていない。授業の分かりやすさやICT活用などは一定の評価があるが、学習習慣や定着度に関する項目で評価差が大きい。地域や保護者の理解促進、授業改善の取組発信が必要。

環境教育
4領域中で最も低い平均値。校内美化や安全管理は教職員の努力が認められているが、地域や保護者の認知度が低い。生徒主体の取組を増やしたり、清掃・美化活動や安全点検の様子を写真等で発信したりすることで、改善につながるのではないか。

家庭・地域連携等
保護者連絡や相談対応は高評価。小中連携や地域学習は一定の成果があるが、コミュニティスクールの効果が十分認知されていない。今後の取組として、地域学習やPTA行事への参加状況・成果を学校だより等で報告し、交流効果を実感してもらうことが考えられる。

学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。中には厳しいご意見もいただきましたが、しっかりと受け止めて、本校生徒の明るい笑顔と明るい未来を創るために、教職員一同、一丸となって教育活動を推進して参ります。
今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

学校長